



掛川JFCニュース 第2号

《伊藤代表》

人を重視した戦国時代の武将武田信玄は「人は城、人は石垣」の名言を残しました。当クラブは、社員スタッフとサポートスタッフ合わせ33名の所帯となりました。私は子供達が「城」でスタッフが「石垣」であると考えます。支える側の我々が一つになり、この夏も子供たちから笑顔があふれるよう頑張ります！！

第1弾 コーチに聞きました！今回は3人登場！

- ①いつからサッカーを始めましたか？ ②サッカーをやっていてうれしかったこと、悔しかったこと、思い出は…
※詳しい経歴はHPをご覧ください

【北出勉：JY1年生担当 アカデミーダイレクター】

- ①小学3年生 ②たくさんの仲間が出来た事や日本全国に友達がいる事。自分が一生懸命頑張ることで、支えてくれる家族や仲間が喜んでくれる姿がとてもうれしかった。



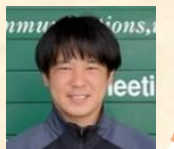
【野沢涼太：06会場担当】

- ①小学1年生 ②小学2年生の頃「浅羽FCとの初試合でゴール（3点）を決めたことがうれしかった」ことを今でも鮮明に覚えています。「試合がある」と自主練習をし、成果に繋がったと幼いながら感じていました。その後、練習前後に走ったり、練習を頑張っても結果が付いて来ない時もありましたが、色々な経験が自分を作っているのだと思います。サッカーを通してコミュニケーション能力向上や少しのことでくじけない精神力、挨拶の大切さなど多くの事を学び、サッカーに出会えたから今の自分がいると思っています。恩師の北出コーチありがとうございます！



【古橋侑弥：01会場担当】

- ①年中 5歳 ②今までも、今現在もサッカーに携わっている時は、常に嬉しく、楽しく、時に悔しい。常に熱い気持ちを持ち、全力でサッカーと子供たちと向き合っている。開誠館中学・高校で過ごした6年間で基盤となっている。今でも尊敬する人は、恩師青嶋監督とコーチたち！



【あしがき】

クラブ在籍のお子様のお父様から伊藤代表に届いたメールをご紹介します。

『幼稚園ではB&G体育館の白線を走っているだけだった長男も、今年の子供の日にはスパイクとボールを欲しがる男の子に成長。購入後、近くの公園で新しいスパイクとボールで個人練習をしている様子を見ることができ、父親として嬉しく思いました。我が子のようにゆるい子でも、サッカーの楽しさを教えて下さり、いつも感謝しております。長男なりの成長を感じることもあり、妻とともに楽しんでおります』

いつもお子様を後ろから暖かく見守って下さる様子が目に浮かびます。これからもお子様の一番の応援団でいて下さい。

(事務局：伊藤みふじ)

